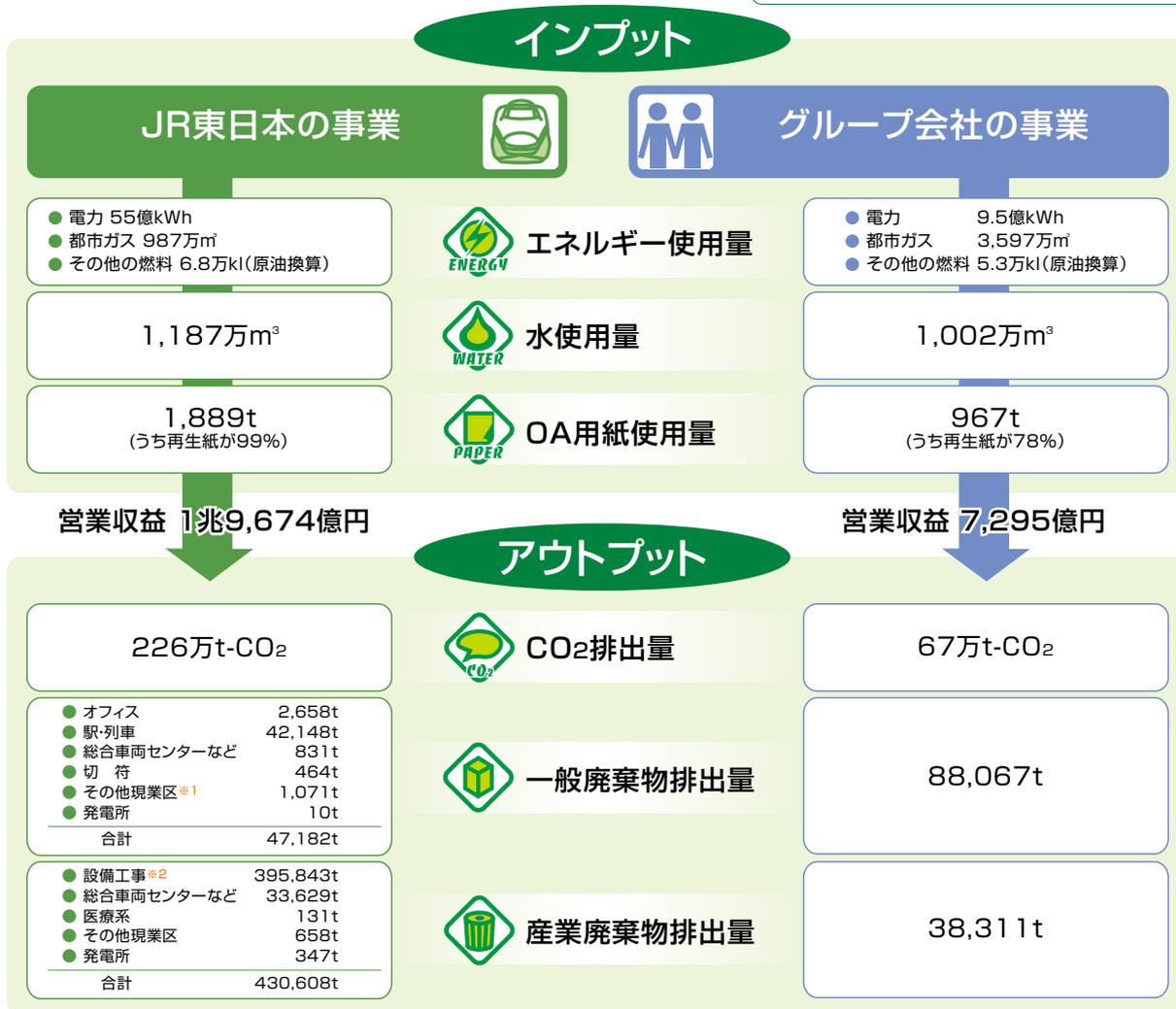


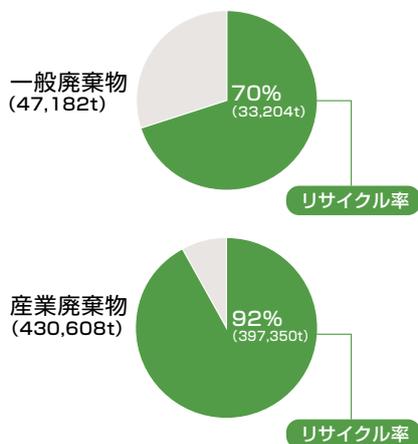
グループ全体の環境負荷

廃棄物処理についての考え方

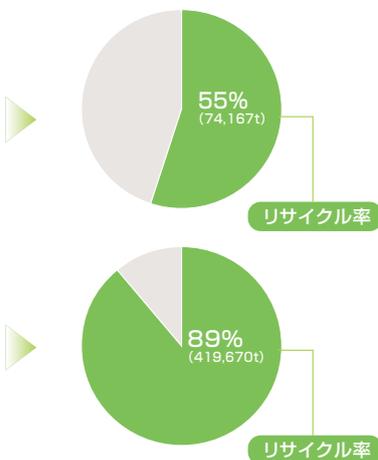
・廃棄物には「有価物」を含みます。
 ・清掃工場などで処理される一般廃棄物や、最終処分が焼却処分される産業廃棄物において、サーマルリサイクルされている場合は、リサイクルとして扱っています。なお一般廃棄物の場合は、廃棄物を焼却したときの燃焼熱により発電に利用され、一年を通じて処理場で売電電力量が購入電力量を上回る場合はリサイクルとして扱っています。ただし、灰などの残渣物が最終的に処分されている場合は、その量を処分量とし、再生量から差し引いています。



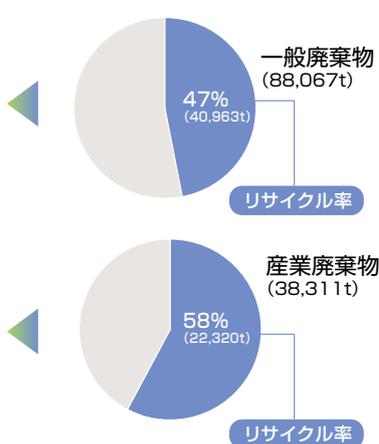
■ JR東日本のリサイクル率



■ JR東日本グループ全体のリサイクル率



■ グループ会社のリサイクル率



※1 その他現業区 設備のメンテナンスなどを行う技術センターや車掌区など。

※2 設備工事 法律上は工事の請負会社が排出事業者となる工事廃棄物も産業廃棄物に含んで把握しています。